

「矢作川・東海(恵南)豪雨10年企画」災害復旧訓練について

1. 訓練目的

平成12年9月11日～12日の東海(恵南)豪雨により、戦後最大規模となる洪水が発生し、洪水がもたらす被害やその教訓を風化させることなく、併せて災害復旧活動の重要性・河川事業の必要性を幅広く地域へ伝えることにより、地域住民の防災意識の向上を図り、次世代へ伝承することが重要です。

そのため、「矢作川・東海(恵南)豪雨10年企画」第3弾として、矢作川の堤防決壊を想定した復旧等の訓練を豊田市御立地区において実施いたします。昨今の集中豪雨等による被害が懸念される中、矢作川においても堤防決壊時の甚大な水害が発生した場合に備え、豊橋河川事務所「災害時における河川災害応急復旧業務に関する協定書」による協定業者との災害復旧訓練や、排水ポンプ車等の災害対策車両の実働訓練等を実施します。

2. 訓練実施日

平成22年8月27日(金) 10:00～12:00

3. 訓練場所

矢作川左岸 38.4k 付近 (別図参照)

4. 訓練概要

建設機械による堤防荒締切、排水ポンプ車による排水訓練、災害対策本部車の設営

